

和歌山縣報 第四百一號

大正五年九月二十二日
金曜日

○縣令

○和歌山縣令第三二號

縣ノ負担ニ属スル給助金、退隱料及遺族扶助料請求手續左ノ通り相定ム

大正五年九月二十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

縣ノ負担ニ属スル給助金、退隱料及遺族扶助料請求手續

第一條 縣ノ負担ニ属スル給助金、退隱料及遺族扶助料ノ受領者ニシテ其ノ住所ヲ轉シ又ハ左ノ事項ニ該當シタルトキハ本人又ハ其ノ遺族ヨリ直ニ住所地ノ市町村長ヲ經由シ當廳ニ届出ツヘシ

一、巡查守退隱料及遺族扶助料法第十一條第十二條及第十四條ニ抵觸シ又ハ其ノ事故止ミタル

トキ

二、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第四條ノ三第五條及第十一條ニ抵觸シ又ハ其ノ事故止ミタルトキ

三、本縣吏員退隱料規則第十一條ノ一及第十一條ノ二ニ抵觸シ又ハ其ノ事故止ミタルトキ

第二條 巡查給助金、巡查退隱料及遺族扶助料ノ支給ヲ受ケントスル者ハ支給期月ノ前月初日市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料、縣吏員退隱料及遺族扶助料ノ支給ヲ受ケントスル者ハ支給

期月ノ前月末日ニ於テ第一號書式ニ依リ請求書ヲ調製シ當該証書ヲ添へ住所地ノ市町村長ニ提出スヘシ

第三條 紙助金、退隱料及遺族扶助料ノ受領者死亡シタルトキハ其ノ生存中ニ係ル月割金ヲ受領スヘキ權利者ニ於テ戸籍謄本ヲ添へ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 市町村長ニ於テ前二條ニ依リ請求書ヲ受ケタルトキハ其ノ記載事項ヲ調査シ正確ナルコトヲ認メタルトキハ証書ハ本人ニ返付シ請求書ハ第一號書式ノ如ク附記證明シ直ニ當廳へ進達スヘシ

第五條 市町村役場ニ於テハ第二號書式ニ依リ紙助金、退隱料及遺族扶助料受領者ノ名簿ヲ備ヘ常ニ其ノ異動ニ注意シ請求權ニ影響スル事故アリタルトキハ直ニ當廳へ報告スヘシ

附 則

第六條 本令中市町村長トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戸長又ハ之ニ準スヘキモノトシ市ノ區長ガ戸籍吏ノ事務ヲ行フ場合ニ於テハ區長トス

第七條 本令ハ大正五年十月一日ヨリ施行ス

從來ノ規程ニシテ本令ト抵觸スルモノハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

書式第一號

請 求 書

種 别	巡査給助金、巡査退隱料又ハ何々
年 額	金何程

請求金額	期別	退職當時ノ給	事由	右請求候也	大正年月日	和歌山縣知事宛
金何程	何年何月渡又ハ何年何月ヨリ何年何月迄ノ類	本俸何程 加俸何程	事故ナシ 何々事由ニ依リ何年何月何日ヨリ權利發生又ハ消滅何 年何月何日何官職拜命俸給何程受領ニ付停止又ハ月割 何々 差額何程ノ類			

右所持ノ証書ヲ檢閲シ其ノ請求權アルコトヲ證明ス

大正年月日

市町村長面

和歌山縣知事宛

氏名(印)

本籍何府縣何郡市町村何番地
現住所全

書式第二號

備考	官職	年額	種別	本籍	氏名
支給停止 事項	元何々 何々	何程 何年月日何官ニ任セラル	巡查退隱料又ハ何々 退職當時 ノ俸給	何府縣何郡市何町村何番地 何府縣何郡市何町村何番地	現住地 又ハ何某寡婦又ハ孤兒某 某
			給額ノ 本俸何程 加俸何程	證書番號 第何號	

○和歌山縣令第三三號

學校費補助規程左ノ通定ム

大正五年九月二十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

學校費縣費補助規程

第一條 縣立以外ノ中學校高等女學校實科高等女學校及各種實業學校ニシテ教育獎勵上必要アリト認メタルトキハ本規程ニ依リ縣費ヨリ其ノ經費ヲ補助ス

第二條 補助ノ種類及其ノ歩合左ノ如シ但シ第二號ハ學校設立ニ關スル臨時設備費ニ對シ之ヲ補助シ第三號ハ成績特ニ優良ナルモノニ限り之ヲ補助ス

一、乙種實業學校經常費補助

校長俸給年額ノ二分ノ一以内

二、乙種實業學校臨時費補助

支出金額ノ内縣費以外ノ補助金ヲ控除シタル殘額ノ十分ノ三以内

三、實業補習學校經營費補助

一校ニ對シ金五拾圓以内

四、其ノ他ノ學校經營費補助

支出金額ノ十分ノ一以内

特別ノ事情アル場合ニ於テハ前項ノ歩合ニ依ラズ補助金ヲ定ムルコトアルヘシ

第三條 補助ヲ受ケムトスルトキハ管理者又ハ設立者ニ於テ左記事項ヲ具シ年度開始前知事ニ申請スヘシ

一、當該年度歲入歲出豫算

學校組合立ニ係ルモノハ其ノ組合町村ノ豫算共

二、各學年別生徒現在數

三、前年度入學志願者及入學者府縣郡市別數

第四條 補助ヲ受クル私立學校ノ設立者ハ其ノ學校經費ニ關シ政府ノ會計年度ニ依リ收支豫算及決算ヲ調製シ及其ノ學校ノ收支及物品等ニ關シ必要ナル帳簿ヲ備フヘシ

第五條 補助ヲ受ケタル學校ノ費用負擔者ハ當該年度ノ豫算ニ殘餘ヲ生シタルトキハ知事ノ認可ヲ得テ翌年度ニ繰越シ之ヲ使用スルコトヲ得

第六條 補助ヲ受ケタル郡市立以外ノ學校管理者又ハ設立者ニ於テ其ノ學校ニ關スル歲入歲出豫算ヲ追加更正シタルトキハ其都度之ヲ知事ニ報告スヘシ

第七條 補助ヲ受ケタル郡市立以外ノ學校ノ收支決算ハ遲滯ナク之ヲ知事ニ報告スヘシ前項ノ決算書ニハ豫算額及之ニ對スル比較増減ヲ示シ其ノ理由ヲ記スヘシ

第八條 補助金ハ二期ニ分チ各其ノ半額ヲ交付ス但シ臨時費ニ對シ補助スル場合ハ其全額ヲ一時ニ交付スルコトアルヘシ

第九條 補助ヲ受ケタル學校ニシテ年度中途ニ於テ廢校シタル場合ハ補助金ヲ減額スルコトアルヘシ

第十條 補助ヲ受クル學校ニシテ歳出豫算ヲ減額シ又ハ豫算ノ殘餘ヲ使用セス其ノ他本規程ニ違背スル等不都合アリタルトキハ補助金ヲ交付セス又ハ已ニ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ヲ返還セシムルコトアルヘシ

第十一條 郡市立學校ノ本規程ニ依リ知事ニ差出ス書類ハ總テ所轄郡市長ヲ經由スヘシ
郡市長ニ於テ前項ノ書類ヲ受理シタルトキハ第三條ノ申請ニ關シテハ學校ノ成績及出願ノ理由ヲ取調ヘ意見ヲ具シ其ノ他ハ不都合ナキヲ認メタル上之ヲ進達スヘシ

第十二條 知事ニ於テ必要アリト認メタルトキハ官吏ヲ派シテ補助ヲ受クル學校ニ就キ書類帳簿物品等ヲ檢閱セシムルコトアルヘシ

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年度ニ於テ補助ヲ受ケムトスルモノニ關シテハ本則第三條ノ申請期限ヲ十月二十日限トス

○告 示

○和歌山縣告示第二十七號

大正五年九月七日縣下那賀郡中野上村大字沖野々字越前附近ニ於テ左記有害鳥獸捕獲許可証紛失ノ旨届出タリ

大正五年九月二十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

第四七號 大正五年八月二十一日付下附
有害鳥獸捕獲許可証 壹 枚

有効期間 自大正五年八月二十一日
至全 年十一月十五日

那賀郡中野上村農會長

山 中 嘉 重 郎

捕獲從事者

全郡全村大字沖野々

谷 端 美 晴

○和歌山縣告示第二七八號

群馬縣ニ於テ縣有給吏員並縣費支辨吏員職員退隱料遺族扶助科支給細則左記ノ通設定セラレタリ
大正五年九月二十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

群馬縣令第三十號

群馬縣有給吏員並縣費支辨吏員職員退隱料遺族扶助科支給細則左ノ通相定メ發布ノ日ヨリ之ヲ施行
ス

大正五年九月八日

群馬縣知事 三宅 源之助

縣有給吏員並縣費支辨吏員職員退隱料遺族扶助科支給細則

第一條 明治三十六年縣令第十三號及明治三十八年縣令第八號コ依リ縣有給吏員並縣費支辨吏員職員又ハ其ノ遺族ニ對シ退隱料若ハ遺族扶助科ヲ支給スヘキ場合ニ於テハ別ニ定ムル所ノ證書ヲ下付ス

第二條 退隱料又ハ遺族扶助料ハ其ノ年額ヲ四分シ四月、七月、十月及一月ニ於テ其ノ前三ヶ月分

ヲ支給ス但シ權利消滅若ハ停止ノ場合ハ支給期日ニ拘ハラス之ヲ支給ス

第三條 退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受領セムトスル者ハ毎支給期月ノ十日迄ニ町村居住者ニ在リテハ

町村長市居住者ニ在リテハ市長(市制第六條ノ市ニ在リテハ區長)ノ證明ヲ得第一號様式ノ請求書ヲ知事ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ證書ヲ市町村長ニ提示シ其ノ受領權アルコトヲ證スヘシ
市町村長ハ本條ニ依ル證明ヲ請フモノアリタルトキハ退隱料受給者ニアリテハ官吏恩給法第十二條遺族扶助料受給者ニアリテハ官吏遺族扶助法第十四條第十六條ニ抵觸ノ有無ヲ調査證明シ本人ニ返付スヘシ

第四條 退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受クヘキ者ハ其ノ受領地ヲ知事ニ届出ツヘシ變更ノ場合亦同シ
第五條 退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受クル者懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ裁判確定シタルトキハ
判決書ノ寫ヲ添ヘ本人又ハ家族ヨリ七日以内ニ知事ニ届出ツヘシ但シ六年以上ノ懲役又ハ禁錮ノ
刑ニ處セラレタルトキハ同時ニ證書ヲ返納スヘシ

日本臣民タル分限ヲ失ヒタル場合ニ於テモ亦前項ニ準ス

公務ニ就キ新ニ給料ヲ受クルニ至リタルトキハ當該官公署ノ證明ヲ得テ七日以内ニ知事ニ届出ツ
ヘシ給料額ニ増減ヲ生シタルトキ其ノ職ヲ罷メタルトキ亦同シ其ノ届書ニハ職名給料額及給料ノ
支給ヲ受クル初日罷職ノ場合ハ支給修了ノ口ヲ附記スヘシ

第六條 退隱料ヲ受クル者死亡シタルトキハ遺族ハ七日以内ニ其ノ旨知事ニ届出ツヘシ其ノ遺族ニ
シテ扶助料ヲ受クヘキ権利者ナキ場合ニ於テハ死亡ノ届出ト同時ニ退隱料證書ヲ返納スヘシ
遺族扶助料ヲ受クル者死亡又ハ権利消滅ノ場合ニ於テモ亦前項ヲ準ス

第七條 退隱料又ハ遺族扶助料證書ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ(紛失又ハ盜難ノ場
合ニ於テハ警察官署ヘ届出ノ年月日ヲ記載スヘシ)再下付ヲ申請スヘシ
知事ハ事實ヲ查覈シ相當ト認メタル場合ハ證書ノ謄本ヲ作リ之ヲ下付ス

前項謄本ハ本證書ト同一ノ効力アルモノトス

第八條 退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受クル者氏名ヲ變更シタルトキハ證書ニ戸籍ノ抄本ヲ添ヘ七日以内ニ知事ニ届出ツヘシ

前項届書ヲ受理シタルトキハ證書ノ裏面ニ事由ヲ記載シ之ヲ下付ス

附 則

本則ニ於テ市町村長トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戸長又ハ之ニ準スヘキモノトス

第一號様式

請 求 書

退隱料(遺族扶助料)年額金何圓證書第何號

一金何圓也

但大正何年何月ヨリ何年何月ニ至ル三ヶ月分

若シ本期内ニ於テ支給金額上ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ期間並事由ヲ詳記シ請求金額ノ算出ヲ明瞭ナラシムルヘシ

右 請 求 也

年 月 日

縣 郡 市 町 大字 何々 何番地 (本籍並現住所)

元職名又ハ(故職名)寡婦又ハ(子)等續柄

何 某 面

(未成年者ナルトキハ法定代理人ノ署名捺印ヲ要ス)

知事宛

○和歌山縣告示第二七九號

長崎縣ニ於テハ左記ノ通獸疫發生ノ旨通知アリタリ

大正五年九月二十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

獸類	種別	性	病	名	發見月日	轉歸月日	發病地
牛	和種	牝	炭疽	痘	九月八日	九月十日	斃死 南松浦郡本山村

○和歌山縣告示第二八〇號

本年八月十五日本縣告示第二二四號西牟婁郡產牛畜產組合田邊定期家畜市場ニ對スル區域中ニ市ノ瀬村ヲ追加ス

大正五年九月二十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第二八一號

左記自轉車籠札紛失ノ旨届出ニ依リ自今無効トス

大正五年九月二十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

筆札番號

紛失年月日

住

所

氏

名

日第八五七號

大正四年十一月廿九日

日高郡御坊町大字蘆

鹽

崎

岩

楠

名

日第五八七號

大正五年八月十一日

日高郡南部町大字南道

井

本

熊

吉

名

伊第一八二號

大正五年九月二日

伊都郡見好村大字三谷

田

村

勝

太

郎

○和歌山縣告示第二八二號

一福岡縣ニ於テハ虎列拉豫防ノ爲メ大阪市神戸市ヨリ來ル漁車ニ對シ久留米、二日市、博多、小倉、
門司各驛ニ於テ本月十一日ヨリ漁車檢疫ヲ施行ス

一靜岡縣ニ於テハ虎列拉豫防ノ爲メ船舶檢疫施行中ノ處横濱港トアルハ神奈川縣ト改メ目的地ニ東
京府、千葉縣、三重縣、和歌山縣ヲ加ヘ更ニ左記港灣ヲ追加シ本月十二日ヨリ檢疫ヲ施行ス

記

賀茂郡 下田
全田郡 稲取
全方郡 伊東
志太郡 热海

一愛知縣ニ於テハ虎列拉病豫防ノ爲メ左記地方ヲ發シ又ハ同地ヲ經テ來ル船舶(船ヲ含ム)ニ對シ名古
屋港及半田港ニ於テ本月十二日ヨリ檢疫ヲ施行ス

記

奈川

神大廣山岡

阪島

口山

分山

鳥縣

鹿兒島縣

縣

鳥縣

縣

大正五年九月二十二日

兵千熊和愛高島

庫本業知媛歌根山

縣縣縣縣縣縣

長福東香德佐三重崎島川京賀縣

縣縣縣縣縣縣

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○ 辞令

○九月十四日

防疫員

田端國久

千石吉雄

○九月十五日

有田郡箕島町立實業學校助教諭心得ヲ命ハ
月俸貳拾圓ヲ給ス

有田郡箕島町立實業學校
助教諭心得

木村一枝

立花うたゑ

頼ニ依リ職務ヲ免ス

月俸參拾圓ヲ給ス

縣水產技手ニ任ス

西牟婁郡書記 中田與八

本月九日忠本警察分署縣出納吏交替ニ付前任者ノ取扱ニ係ル帳簿及金債ノ検査ヲ命ス

月俸七拾五圓ヲ給ス

青田庫補

統計吏員

湯川喜作

縣會計吏員ヲ命ス
月俸參圓ヲ給ス

雇

内務部會計課勤務ヲ命ス
知事官房秘書係勤務ヲ命ス

河口久次郎

縣立新宮中學校書記ニ任ス
十一級俸ヲ給ス

廣瀬市郎

内務部會計課勤務ヲ命ス
知事官房秘書係勤務ヲ命ス

淺井平八

新宮中學校書記心得
土木技手

竹内健吉

縣雇ヲ命ス
月俸六圓ヲ給ス

河口久次郎

月手當九圓ヲ給ス

竹内正義

知事官房文書係勤務ヲ命ス
月俸六圓ヲ給ス

河口久次郎

月俸拾貳圓ヲ給ス
雇ニ依リ職務ヲ免ス

河口久次郎

○九月十六日

雇

河口久次郎

月俸拾貳圓ヲ給ス

河口久次郎

依頼解雇

正七位

河口久次郎

月手當九圓ヲ給ス

河口久次郎

縣立新宮中學校教諭ニ任ス
五級俸ヲ給ス

高島正三

月手當九圓ヲ給ス

高島正三

任縣技手

高島正三

月手當九圓ヲ給ス

高島正三

任縣技手

高島正三

月手當九圓ヲ給ス

高島正三

内務部勸業課勤務ヲ命ス
月俸參圓ヲ給ス

高島正三

月手當九圓ヲ給ス

高島正三

○自九月一日至九月十日北野上村「トラボーム」患者治療旬報

種別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計
生徒患者	六	六	三	三	三	五	六	三	三	四	四十五
其他患者	六	四	五	六	三	四	三	五	六	三	四十五
計	十二	十	八	十二	一百三十五						

○業

報

○農業品評會開催 本年十一月廿一日より同三十日迄十日間群馬縣前橋市三於テ群馬ノ農業社主催トナリ時勢ノ進運ニ鑑ミ交雑種種商品評會並ニ桑苗展覽會開催ニ付出品方同縣鑑種同業組合聯合會組長ヨリ申越候付出品希望ノ向ハ和歌山縣農業取締所ニ就キ出品ニ關スル手續承合サルヘシ

○自九月一日至九月十日大谷村「トラホーム」患者治療旬報

和

四

三

一四

三

三

四
六

七

四

古

二四

10

1

大正五年九月二十一日印
每月六曜日金曜日發行

和歌山縣知事官房

印 刷 和歌山市本町二丁目三番地
所 和歌山市本町二丁目三番地七
江 川 印 刷 部